

浦安小新聞

学校概要



【学校名】 琴浦町立浦安小学校
【所在地】 琴浦町下伊勢504番地1
【校長名】 齋藤 美世
【児童数】 211人



【教育目標】
確かな学力を身に付け、心豊かでたくましく実践力のある子どもの育成
【沿革】
1936年 蓬東村・市勢村・伊勢崎村組合 尋常高等小学校設立
1948年 浦安小学校に校名変更

創造力を育む 初の取り組み 全校造形遊び



集中して紙コップを積み上げる6年生

浦安小の全校児童は昨年5月1日、全校造形遊びをいう初めての取り組みを行った。子どもたちの豊かな感性や創造力を育もうと、校舎内を存分に使って思い思いのいろいろな作品を創り上げ、学校を美術館のように彩った。

1・2年生は「絵の具でえがこう」。3年生と5年生は「ステンシルシートで窓をかざろう」。4年生は「クラフト紙にえがいたら」。6年生は「2万個の紙コップを使って」をテーマに取り組んだ。

取り組みには、鳥取県地域振興部美術館専門員の方や岡山県津山市の美術大学短期大学の教授、地域のボランティアの皆さんにも協力してもらい、これまで体験したことのない楽しい活動になった。

6年生は、体育館で2万個の紙コップを使ってタワーや家などを作った。コップを積み上げたり、並べたり、

体育館を紙コップでアーケードにする6年生

り、友だちの作品と組み合わせたりするなどして工夫をこらして製作した。

途中で崩れてしまう場面もあったが、励まし合ったり声をかけたり、自分たちの思いやイメージをふくらませながら熱中して取り組んでいた。

6年の浅田奈桜さんは「みんなで大きなタワーを作ったのが楽しかったと話した。最後にそれぞれの学年の作品鑑賞を行った。『すごい』『きれい』など、感動する声が聞こえてきた。」

(山崎瑛貴、村崎郁斗、山田喜一、盛山結衣、松田清花)

思い描く形に 陶芸の魅力に触れる



真剣な表情で陶芸に取り組む児童ら

浦安小の6年生は昨年6月18日、町内のまなびタウンというへ校外学習に行き、焼き物作りの学習をした。地域で陶芸教室を行っている西本博志さんの指導を受け、土の感触を楽しみながら焼き物作りに取り組んだ。

この日までに、一人一人がどんな作品を作るか、時間をかけて考え、当日はろくろの上に粘土を置き、ろくろを回して中心を決めてくぼみを作った。

自分の思い描く作品になるように形を整え、茶わんやコップ、花瓶、湯飲みなど、それぞれの希望するものを一生懸命に作りあげた。完成した作品は持ち帰り、家で使っている。

焼き物作りを体験した松田清花さんは「初めての体験であり上手にできないと思っていたけど、西本さんにアドバイスをもらったり、手伝ってもらったりして上手にできた」と話した。

(川山琴葉、河本美香、齊木哉汰、豊見達夢、谷岡菜、仁科春翔、松本土鶴、山本夢那、吉田七海)



作品の感想を伝える児童

自由な発想伝え合う 朝鑑賞で多彩な美術作品

浦安小では昨年度の9月から、全校で「朝鑑賞」に取り組んでいる。毎月1回、朝読書の15分間を活用して実施。いろいろな画家が描いた絵や美術作品を見て考えたことや見えたものなどについて、自由に意見を言うことで作品の見方を深めている。

朝鑑賞に使用する絵は、写実的な絵や抽象的な絵など、みんなが楽しめる絵がたぐいにある。また、鑑賞作品の中には、鳥取県出身の前田寛治のものや町内外

浦安小では昨年度の9月の方を描いた作品もある。朝鑑賞の日には、地域の方や先生など、その月の担当者が教室に来て進行役を務める。児童は作品を1分間鑑賞した後、「どう思ったか」「や」「どう感じたか」などを伝え合う。

6年の伴中杏菜さんは「人によって考え方が違うことが面白い」と話した。

(天野希、河本花音、マクラフリン 聡志、花井井彩、平久結愛、橋本浩志)

琴浦Myスター☆に学ぶ 貴重な琴体験



熱中して琴を演奏する児童ら

浦安小の5・6年生は昨年11月15日、ふるさと教育を支える「琴浦Myスター☆」で、和楽器バンド「因音」に所属する琴浦町の奏者・小泉和生さんを講師に、琴の演奏を聴いて、琴体験も行った。生演奏で聴いた「曼珠沙華」という曲は、きれいな音色で迫力があ

り、児童は引き込まれるように聴き入った。初めて琴に触れる児童も多く、日本古謡の「さくらさくら」の初めの部分を興味津々で演奏した。班のみんなで協力しながら、短時間だったが楽しんだ。和楽器は身近にはないもので貴重な体験ができた。

マクラフリン聡志さんは「初めて琴を演奏して最初は難しくて分からなかったけど、小泉さんが分かりやすく教えてくれたらうれしそうに語った。」

(桑名桃子、田中杏、藤本優翔、福本大平、山脇叶羽、若松歩果)

仲良くなれたよ 全校遠足でふるさと学習



全校児童は昨年5月2日、山陰唯一の特別史跡・斎藤の水辺公園に遠足に行った。歩く道は八橋往來の一部、夢街道ルネサンス認定地区で歴史的、文化的に貴重な遺産が多い。6年生が他学年を上手にリードしながら歩くスピードを考え、目的地まで歩いた。

公園では、縦割り班ごとに追跡ハイキングを行い、仲良く協力しながら10回のクイズにチャレンジした。6年生が考えた遊びや縦割り班ごとに弁当を食べるなど、ふるさとの豊かな自然の中で他学年の友だちと楽しく活動した。

6年の山田喜一さんは「縦割り班で一緒に遊べて楽しかった。みんなと仲良くなれた」と話した。

(伊山優音、上野蓮、奥田隼太、源内駿、南樹輝、伴中杏菜、宮本百々花)

楽しく弁当を食べる児童たち

ふるさとの味に舌鼓 秋の味覚満載の給食



地元食材を使った給食を味わう児童ら

琴浦町内の小中学校では昨年11月7日、本年度2回目の「琴浦Myスター☆給食」があった。琴浦町ならではの地元食材がふんだんに使われ、児童はふるさとの味に舌鼓を打った。

この日の献立は秋の味覚が満載で、磯の香おこわ、いりどり、立冬ふきよせ汁、ミニトマト、白パラシュークリーム、牛乳だった。

同給食の取り組みは「子どもたちに地域の特産品を知り、食を通してふるさとへの誇りと愛着を持ってもらいたい、ふるさとを大切に思う心を育ててほしい」という考えで行われている。

6年の天野希さんは「地元の食材をたくさん使った給食で、とてもおいしかった」と話した。

(浅田奈桜、市村華妃、岡田凌空、倉本康暉、谷田政人、東詩珠、福中蓮土)

6年生が作った新聞です